

出題範囲:不定詞の発展(It is ... to／want・tell 人 to／how to)・分詞(名詞を修飾)・関係代名詞(who / which / that)(中3・2学期)	時間:45分	難易度:基礎
---	--------	--------

このテストのストーリー カナダの姉妹都市から、中学生の Nina(ニーナ)が2週間の短期留学であなたの学校に来ました。あなたはNinaのバディ(案内係)です。学校の人やものを紹介し、日本の文化ややり方を説明し、Ninaの「これはだれ?」「どうやるの?」に答える――すべての問題が「Ninaに学校と日本を案内するための英語」です。

※設計サンプル(ひな形)です。Word版で自校の範囲・固有名詞に差し替えて使えます。ヒントを使ってよいので、まず全問に手をつけよう。

大問1

リスニング Ninaの自己紹介と、部活の相談の対話を聞いて答えよう。

知技・思判表

/20点

場面 留学初日。Ninaが自己紹介の音声メッセージを送ります(Part A)。そのあと部活動について相談します(Part B)。あなたはメモを取りながら聞いています。放送はそれぞれ2回流れます。

Part A Ninaの自己紹介の音声メッセージを聞いて、メモの空らんを日本語で埋めよう。(各2点)

Ninaが学びたいこと	(①)	Ninaの好きなもの	(②)
Ninaの家族について	(③)	いちばんやってみたいこと	(④)

⑤ メッセージを聞いて、あなたがNinaにすすめしたい部活や学校行事を英語で答えよう。(3点) 書き出し:You should _____.	
---	--

Part B Ninaと部活動について相談しています。対話を聞いて答えよう。((1)～(3)各2点)

(1) 案内役のあなたが入っている部活は何ですか。	()
(2) Ninaが体験することにした伝統的な部活は何ですか。	()
(3) Ninaがその部活に持って行くものはどれ? ア 筆 イ きれいな靴下 ウ お茶	()
(4) この対話のあと、Ninaがいちばんしたそうなことはどれ?(3点) ア 着物を着る イ 絵をあきらめる ウ カナダに帰る	()

大問2 文法・語い チャットとメモが成り立つように、()の英語を完成させよう。 知識・技能 /20点

場面 バディのNinaと、学校の人やものについてメッセージのやり取りをしています。

Nina: Wow! Who is the man(①)is talking to the students near the gate?
You: He is the teacher(②)teaches us science. Everyone likes him.
Nina: Nice. Who is the girl (③) the guitar over there?
You: That's Aya. Look, this is a photo (④) at our school festival.
Nina: Amazing! Is kendo a sport(⑤)uses a bamboo sword?
You: Yes. It is fun(⑥)try it. I want you(⑦)join us after school.
Nina: Sounds great! Can you show me how(⑧)hold the sword?

語群(同じ語を2回使うことも):who / which / that / to / playing / taken / spoken / written ①~⑩の10か所・各2点

〈Ninaのメモ・各2点〉 Nina likes the manga(⑨)is read by many students. / She wants to learn some words (⑩) in Japan.

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	
⑩					

大問3 場面のやり取り Ninaの案内。それぞれの場面に合う英語はどれ？ 思・判・表 /10点

場面 留学中のNinaと、いろいろな場面で英語をやり取りしています。

場面に合う英語を選ぼう。(各2点)

(1) 友だちのAyaを「ギターをひいている女の子」だと紹介するなら？ ア Aya wants to play the guitar. イ The girl playing the guitar is Aya. ウ That girl played the guitar.	()
(2) 「これはみんなが読んでいるマンガだよ」と説明するなら？ ア I read this manga every day. イ This manga is difficult. ウ This is the manga that everyone reads.	()
(3) Ninaに「はしの使い方を教えてあげる」と言うなら？ ア I'll show you how to use chopsticks. イ Chopsticks are difficult. ウ I use chopsticks every day.	()
(4) Ninaに「書道を一緒にやってほしい」とお願いするなら？ ア I tried calligraphy last year. イ Calligraphy is a Japanese art. ウ I want you to try calligraphy with me.	()
(5) 「新しい文化を知るのはおもしろいね」と感想を言うなら？ ア I know a lot about culture. イ It is interesting to learn about new cultures. ウ Culture is interesting.	()

大問4 資料の読み取り 文化体験のポスターを読んで、Ninaの体験えらびを手伝おう。 知技・思判表 /20点

場面 放課後、Ninaが日本文化を体験できるクラスが2つあります。英語のポスターが2枚あります。

Calligraphy Class (Shodo)	Manga Class
Day: Wednesday Time: 3:30 p.m. – 4:30 p.m. Place: Japanese Room Write kanji with a brush. You can take your work home.	Day: Friday Time: 3:30 p.m. – 5:00 p.m. Place: Art Room Draw your own characters. Everyone who loves comics is welcome!

Ninaのメッセージ "I want to try something using a brush, and I'd like to make something Japanese to take home. I'm free on Wednesday."

(1) ポスターから読み取ろう。(各2点) ① 書道体験の曜日は？	()曜日	② 書道体験で使う道具は？	()
③ マンガ体験の場所は？	()	④ マンガ体験が終わる時こくは？	(:)
(2) Ninaのメッセージに合う体験はどちら？(記号2点) A Calligraphy Class B Manga Class	()		
そう考えた理由に合うものは？(3点) ア Ninaは「筆を使うものをやりたい・日本のものを作って持ち帰りたい・水曜が空いている」と言い、書道は筆で漢字を書き、作品を持ち帰れて、水曜にある イ マンガ体験のほうが時間が長いから ウ 書道体験は道具がいらないから	()		
(3) もう一方の体験(マンガ)を、別の日にすすめる一言は？(3点) ア 金曜に時間があれば、マンガ体験で自分のキャラクターを描ける イ マンガ体験はもう終わったので行けない	()		
(4) Ninaにマンガ体験をすすめる英語として合うものは？(4点) ア You can draw your own characters at the Manga Class on Friday. Let's join it together! イ I have drawn a manga before. ウ Manga is a Japanese culture.	()		

大問5 読解 2学期に学習した教科書の説明文を、もう一度読んで答えよう。 知技・思判表 /20点

場面 Ninaに「日本の教科書ではどんな文章を読むの?」と聞かれました。内容を思い出しながら読み直します。

▼ 本文貼り付け枠(Word版で、2学期に学習した教科書の本文・説明文をここに貼り付け)

問1 この文章に合うタイトルを選ぼう(選択肢は本文に合わせて先生が作成)(3点)	()
問2 本文の内容と合っていれば○、ちがっていれば×を書こう。①~④(各2点)	①()②() ③()④()
問3 下線部の語の意味として合うものを選ぼう(3点)	()
問4 筆者の考えとして合うものを選ぼう(3点)	()
問5 本文のテーマについて、あなたの考えを英語で書こう(3点) 書き出し:It is ____ to ____.	

大問6 ライティング Ninaに、学校や日本で見つけた人・もの・ことを紹介しよう。 知技・思判表 /10点

場面 Ninaが「日本での2週間で心に残った人・もの・ことを教えてほしい」と言っています。あなたはNinaに、学校や日本で見つけたおススメの人・もの・ことを紹介するメッセージを書きます。

条件 ①人やものを説明する文(関係代名詞 who/which/that、または 分詞)を1つ ②Ninaにしてほしいこと・作り方など(不定詞)を1つ
書き出しヒント:This is a ____ that ____ . / I want you to ____ .

3文以上。Ninaが「それ、いいね!」と思えるように書こう。

評価の目安(10点)	内容(条件を満たし、Ninaに伝わるか)…6点 + 英語(語数と正確さ)…4点
------------	---

書き終わったら見直しチェック ☐ 大文字・小文字 ☐ 文末のピリオド/ ? ☐ 形(関係代名詞 who/which/that・分詞は名詞の後ろ・不定詞 to+動詞の原形) ☐ 読む相手(Nina)に伝わる内容か

1 テスト設計表(何を・どの場面で・どの観点で測るか)

作問はこの表から始めます。大問を作ってから観点を後づけするのではなく、測りたい力に場面を与えるのが順序です。観点の配点バランスは 知識・技能 51点／思考・判断・表現 49点(中3は入試を見すえ思判表を半分近くに。人やものを説明し、相手に合わせて紹介・提案させる場面を軸にする)。

大問	場面・課題	測る力	観点	配点
大問1	短期留学生の自己紹介(したいこと・好きなもの)と部活相談の対話を聞く	希望・説明の聞き取り(知技)／状況からの判断・自分のおすすめを書く(思判表)	知技・思判表	20(2点×7・3点×2)
大問2	留学生バディのチャット・メモが成り立つように語・語形を判断する	文脈の中で関係代名詞・分詞・不定詞の発展(It is ... to／want 人 to／how to)を正しく使う	知技	20(2点×10)
大問3	案内の場面(紹介・説明・作り方・依頼・感想)で適切な応答を選ぶ	目的や場面、状況に応じて表現を選択する	思判表	10(2点×5)
大問4	2つの文化体験クラスのポスターを読み、留学生の希望に合う体験を選んで伝える	資料の読み取り(知技)／情報を結びつけて判断し、英語で伝える(思判表)	知技・思判表	20(2点×4・3点×2・4点×1)
大問5	教科書の説明文(貼り付け枠)を「要旨→事実→語句推測→筆者の考え→自分」の5層で読む	概要・要点の把握、語句推測(知技)／筆者の考えの理解・自分の考えの表現(思判表)	知技・思判表	20(2点×4・3点×4)
大問6	短期留学生に、学校や日本の人・もの・ことを紹介するメッセージを書く	関係代名詞・分詞・不定詞を使い、条件に沿って読み手を意識して書く(評価規準・評価基準は次ページ)	知技・思判表	10(知技4・思判表6)

2 リスニング台本(2回読み・自然な速さで)

(2sec)(3sec)はポーズの秒数です。ALTに依頼する場合はこの台本をそのまま渡せます。

Part A(Ninaの自己紹介の音声メッセージ)
Hi, I'm Nina from Canada. Thank you for being my buddy this week. (3sec)
I want to learn about Japanese school life. (2sec)
I love Japanese comics. My favorite is a manga which is about a soccer team. (3sec)
I have a brother who is studying Japanese at university. (3sec)
The thing that I want to try the most is calligraphy. (3sec)
Let's have a great two weeks together! (2sec)

Part B(部活動の相談の対話)
Nina: I want to join a club during my stay. What club are you in? (2sec)
You: I'm in the art club. We're painting a big picture for the festival. (3sec)
Nina: Nice! But I'd like to try a traditional one, too. (2sec)
You: Then you should visit the tea ceremony club. Aya is a member who can teach you. (3sec)
Nina: Perfect. What do I need to bring? (2sec)
You: Just bring clean socks. We'll meet in the Japanese room at four. (3sec)
Nina: Got it! I'm also excited to wear a kimono. (2sec)

3 解答例・許容範囲

大問1	A:①日本の学校生活(を学ぶ) ②日本のマンガ(コミック) ③大学で日本語を勉強している兄 ④書道(calligraphy) ⑤例:You should join the brass band. / You should visit our school festival.(発展版は2文目に理由や関係 代名詞・不定詞があれば満点) B:(1) 美術部(art club) (2) 茶道部(tea ceremony club) (3) イ (4) ア
大問2	① who ② who ③ playing ④ taken ⑤ which ⑥ to ⑦ to ⑧ to ⑨ which ⑩ spoken ※①②⑤⑨は関係代名詞(人=who/that、もの=which/that)。③は現在分詞、④⑩は過去分詞の後置修飾。 ⑥⑦⑧は不定詞(It is ... to/want 人 to/how to)。許容解は採点前に決めておく。
大問3	基礎・標準版:(1) イ (2) ウ (3) ア (4) ウ (5) イ / 発展版(友だち紹介の場面を除く4問):(1) ウ (2) ア (3) ウ (4) イ
大問4	(1) ①水曜日 ②筆(brush) ③美術室(Art Room) ④5:00(17:00) (2) A / 理由:Ninaは「筆を使いたい・日本のものを 持ち帰りたい・水曜が空いている」と言い、書道はその3つに合う(メッセージとポスター両方への言及で満点、片方のみ部分点2 点) (3) ア (4) ア(英文として伝わる=2点+情報が適切=2点)
大問5	貼り付けた本文に合わせて作成。問1の誤答は「話題は同じだが要旨とずれるタイトル」を2つ。問2の×文は本文と1か所だけ変え る。問3は未習語・派生語を下線に。問4は考えの手がかり語を決めてから採点する。

4 ライティングの評価規準・評価基準(作問時に確定＝採点のブレを防ぐ)

評価規準(のりじゅん)＝「おおむね満足できる」状況(B)を文章で決めたもの。評価基準(もとじゅん)＝a/b/cの段階と点数の物差し。国立教育政策研究
所の参考資料の様式に合わせ、作問時にこの2つを確定してから出題します(採点のブレを防ぐ＝信頼性)。

評価規準(B)	短期留学生に、日本で見つけた人・もの・ことを紹介するという目的に応じて、人やものを説明する文(関係 代名詞・分詞)と、してほしいこと・作り方など(不定詞)を、意味の伝わる英文で書いている。	
	思考・判断・表現(内容の適切さ)…6点	知識・技能(語数・正確さ)…4点
a	条件をすべて満たし、読み手(Nina)がもっと知りたく なる工夫がある …6点	指定の語数を満たし、関係代名詞・分詞・不定詞の形の 誤りがほとんどない …4点
b	条件をすべて満たしている …4点	誤りが一部あるが、理解に支障はない …3点
c	条件の一部を満たしていない …2点	語数不足、または支障のある誤りがある(伝えようとは している) …1～2点

・「主体的に学習に取り組む態度」はテストでは点数化せず、思判表と一体的に見る(国研参考資料の立場)。・条件に「関係代名詞を使って」等の言語材料
の指定はしない。「人やものを説明して紹介する」という内容条件が関係代名詞・分詞・不定詞の使用を自然に促す(提示がない状況で使えるか＝技能の
評価)。・cの生徒への手立て:返却時に条件チェック表で自己点検→書き直し提出で再評価。減点でなく「できていることを数える」加点で運用。

5 自校仕様へのカスタマイズ(Word版)

固有名詞	Nina を自校の交流相手やALTに、文化体験を自校の地域の行事に差し替える(問いの型は変えない)。
範囲の調整	分詞が未習の学校は、大問2の③④を関係代名詞(the girl who is playing ...)に差し替える。関係代名詞の目 的格(the manga I like)まで範囲なら、⑨を目的格の文にしてもよい。
大問5の本文	2学期に学習した説明文・意見文を貼り付け、問1のタイトル選択肢(正解1＋要旨とずれる誤答2)、問2の○×文、問 3の下線語、問4の考え設問を作る。
リスニング	Premium音声(英検方式の全英語進行・各2回読み・解答ポーズ入り)をそのまま再生して実施できる。自前で実 施する場合は台本2本をALTに渡して録音、またはその場で読む(各2回・自然な速さ)。時間の目安はリスニング 10分・大問2～5で25分・ライティング7分・見直し3分。
配点の調整	知技小問2点・思判表3点・応用4点・ライティング10点の刻みを保つと1問の重みが大きくなりすぎず、観点別の集 計も簡単。中3は入試も見すえ、思判表の比重を過半に近づける。

